

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	滋賀県	事業実施主体	栗東市	地域再生計画名	いつまでも住み続けたいなるまちづくり計画
計画期間	R4～R8	評価責任者	滋賀県栗東市 市長 竹村 健		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	企業進出による就業者数	0人	R3	90人	R6	143人	180人	R8	○	3	2	中間目標値以上に就業者数の増加がみられ、最終目標の達成見込みである。
	指標2	森林施業の効率化（輸送効率の向上）	10分	R3	9分	R6	9分	9分	R8	○	3	2	林道整備事業（待避所設置）の進捗により最終目標値を達成している。
	指標3	観光入込客数の増加	3.40万人	R3	3.49万人	R6	2.93万人	3.55万人	R8	×			中間目標値は達成できていない。300人/年の増加を見込んでいたが、コロナ禍の影響で令和2年から令和4年にかけて利用者が減少し、一部回復したものの未だ元の数値までは回復していない。コロナ禍の取束や道の駅のPRを行うことで今後の利用者増加及び最終目標値の達成を目指していく。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度（R6）	最終実績見込み								
	市道整備事業		2.94km	1.8km	2.94km	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は約61%となっている。計画通り順調に進捗が図れている。							
	林道整備事業		林道:2.50km 保全:3箇所	林道:2.50km 保全:1箇所	林道:2.50km 保全:3箇所	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は100%、箇所数では約33%となっている。計画通り順調に進捗が図れている。							
その他の事業	企業立地推進事業		市内に工場等を新設及び増設等に際して要したインフラ施設の整備に対して支援			市内における工場等の立地を促進するため、工場等の設置に際して要する公共インフラの整備費用について助成措置を設けている。当該助成措置を活用し、1件の工場立地が進んでいる。							
	栗東市観光案内所事業		観光情報の提供、本市の歴史・文化・地場産業の紹介、展示、特産品販売等を行い、観光客の利便性向上を図る			栗東市観光案内所については（一社）栗東市観光協会に運営を委託し、本市を訪ねる観光客に観光地の情報提供を行った。また、市では毎年度栗東市の観光地を紹介するパンフレット「ぶらり栗東」を改訂し、観光案内所で広く配布したところ、観光案内所利用者は令和3年度の11,460人（うち観光物販利用者は3,765人）から令和6年度に15,117人（同4,650人）となった。							
	めぐりちゃんバス運行事業		観光スポット間の移動手段として、春季及び秋季の土日祝日に巡回バスを運行する			春季、秋季に観光スポット間の移動手段としてめぐりちゃんバスを運行し、SNSなどでもそのことについて情報発信に取り組んだ。延利用者は令和3年度の852人から令和6年度に1,034人となった。							
	こんげの里バンガロー村管理運営事業		農林業体験及び野外活動を通じ、地域交流と農林業の活性化を図る			農林業体験と野外活動を通じた地域交流と農林業の活性化を図るため、宿泊やバーベキュー等の提供を行った。							
	栗東市立森林体験交流センター管理運営事業（森遊館）		林業体験活動を通じ、交流と地域林業の活性化を図る			林業体験を通じた交流と地域林業の活性化を図るため、宿泊や日帰り研修等の実施を行った。							
	栗東市立自然体験学習センター管理運営事業（森の未来館）		自然の中で野外活動と宿泊研修を通じて青少年の育成と生涯学習の振興を図る			市内外からの利用者を受け入れ、宿泊、野外活動を通じて青少年の健全育成と生涯学習の振興を図った。							
	栗東市立農林業技術センター管理運営事業		農林業者の健康増進、技術の向上、生活環境の改善及び農村コミュニティの醸成を図る			地元の森林組合等に利用いただき、林業者間の交流が図られている。							
	栗東市放置林防止対策境界明確化事業		境界の明確化により適正な森林管理を行う			区域ごとに森林境界明確化の実施が進められている。							
	森林環境学習「やまのこ」事業		学校教育の一環として体験型学習を実施する			県内及び市内小学4年生を対象としたやまのこ事業（体験型学習）を通して、森林への理解と関心を深めるとともに、人と関わる力を育むことができている。							
	森林環境保全整備事業		森林施業と森林作業道の開設を計画的、一体的に行う			森林組合（森林施業者）により、森林経営計画に沿った間伐等の森林施業が行われている。							
	造林育林推進事業		森林機能の発揮のため森林施業を促進する			施業区域を定め、計画的に森林施業が行われている。							
	林道維持管理		林道の維持管理と危険箇所の改修により安全確保を行う			林道の改修等により、適正な維持管理を行い、林道利用者の安全確保に努めている。							
	栗東農畜産物処理加工施設管理運営事業（道の駅アグリ郷栗東）		農業後継者の育成と雇用機会の増加を図り、地域の農業を振興する			野菜教室事業の参加者に対し、出荷方法等を指導することで、農業後継者の育成に努めた。また、施設が正常に運営できるよう、雇用に関しては適時実施している。							
③評価方法	栗東市まち・ひと・しごと創生本部会議を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	栗東市道路・河川課のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道整備による道路ネットワークを構築し、良好な住環境による人口の定着や新たな企業進出による雇用の創出、林道整備による森林施業の効率化と山地に集積する農林関連施設と連携した交流人口の増加を目的としている。 なお、指標3の観光入込客数の増加については、コロナ禍の影響により当初基準値を下回る結果となったが、観光地のPRを行うとともに道整備を継続して行うなど、引き続き地域再生計画の事業展開を図り、観光入込客数の増加を目指していく。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況						有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有・無）						_____						
令和8年度予算要望額への反映（有・無）						_____							
有りの場合の増減額						千円							
⑦今後の方針等に対する対応	_____												